

『絶対安全』と謳われていた原発は事故を起こし、『絶対王者』も試合に負ける。ウクライナ情勢で悲観的になるまでもなく、もともと世の中に『絶対』は存在しないのだ。あるとしたら「どの人間もいつかは絶対に死ぬ」とか「食いしん防は、妖怪人間ベラ似の奥さまに絶対さからえない」くらいか。

『絶対』が無い世の中だからこそ、『危機管理』は必要なのだ。そのことに、99.99999999……∞%の自信があるのであります。

ここで飛び込んできた米アカデミー賞における「ドライブ・マイ・カー」の受賞と、ウィル・スミスのピンタ事件。これについては、いずれまた書くことになるかも。それでは全国1千万人の食いしん防ファンの皆さま、今年度もよろしくお願いたします。



TOPICS

☆新年度のスタートに、小杉部長が抱負を語る

令和3年度は、湖東中学で防災キャンプを実施した他は、目立った活動のなかった食いしん防災部会。4年度のスタートにあたり、モーフィアス似の小杉部会長は次のように抱負を語った。

「昨年の防災キャンプは、中学校からの依頼に応えられたのがよかった。これぞまち協の本来の姿だ。参加してくれた中学生たちは本当にしっかりしていて、感心した。ぜひ続けたいが、今年はどうかなあ。

防災ネットワーク（こと防）の活動も前に進めていきたい。机上訓練だけでなく、実際に動いてみる模擬体験もやってみたい。今年こそ、コロナに負けず頑張るから、応援よろしく！」



今後の活動予定

- 4月25日 災害市民ネットワークしが総会&交流会
- 6月ごろ こと防全体会

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：模擬体験をやってみたいとのことですが、具体的にどんな内容ですか？

A：たとえば、どこかの体育館やホールを使って、停電して真っ暗という想定で避難所運営（宿泊）をするとか。あまり大人数だと大変なので、とりあえず30人程度

の規模から始めてみたい。(モーフィアス似の小杉部長談)

Q：プ●チンや金●恩みたいな●●に対して、どんな『危機管理』ができるのでしょうか？

A：おおっと、伏せ字だらけの質問だあ。確かに『絶対』がない以上、今後日本がウクライナみたいに侵攻されることもあり得るわけですね。平和を守るための『危機管理』はここに書ききれないほど色々あるけど、特に重要なことを挙げるなら、「味方をたくさん作っておく」「尊敬される文化を持つ」「食糧を自給できる」あたりかな。最後に挙げた項目は、最優先で取り組むべき課題だと思うけどなあ。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

